

# 五ヶ所小学校 校内研究の全体構想 (H20)

## 教育目標

豊かな人間性と確かな学力を身に付け、心身ともに健康な児童の育成

### 五 気

元気・勇気・根気  
やる気・気配り

### こんな子どもを育てます

- ・ 自ら考える子ども
- ・ 仲良く助け合う子ども
- ・ 明るく元気な子ども
- ・ 進んでがんばる子ども

### 五 心

感謝・反省・謙虚  
奉仕・素直

## 研究主題

自信と意欲をもち、主体的に学ぶ五ヶ所っ子の育成

～算数科における複式指導方法の工夫改善を通して～

## 研究仮説

算数科における複式指導方法を工夫し、基礎・基本の定着を図る活動を充実させれば、児童の自信と意欲が生まれ、主体的に学ぼうとする気持ちや実践力が向上するであろう。

## 研究内容

### 主体的な学びを育む指導方法の工夫

- 1 複式指導方法の工夫改善として
  - (1) 効果的な同時直接指導の在り方について研究し、学力の定着を目指します。
  - (2) ガイド学習の充実を図り、主体的に学ぶ児童を育てます。
- 2 問題解決的な学習として
  - (1) 「ひめゆり」の学習指導過程について、徹底することで学習の効率化を図ります。
  - (2) ヒントの提示方法の工夫を図り、児童の自力解決を支えます。
- 3 個に応じた指導方法として
  - (1) 個人カルテを作成し、一人一人の児童に合ったきめ細やかな指導を行います。
  - (2) 児童の自己評価をもとに毎時間の授業をフィードバックし、次の指導に生かします。

### 主体的な学びを支える基礎的・基本的内容を身に付ける教科外活動

- 1 朝の読書活動(10分間読書)
- 2 業間活動(スピーチ活動・ぴよんぴよんタイム)
- 3 学習環境整備(算数コーナー)
- 4 家庭との連携(家庭学習の手引き活用)
- 5 プレゼント学習問題(校長作成による習熟問題)
- 6 俳句・短歌・作文コーナー

# 研究の概要

## 主体的な学びを育む指導方法の工夫

### 1 複式指導方法の工夫改善について

#### (1) 効果的な同時直接指導の在り方



50円は5円が10個分 $5 \times 10 = 50$			3けた÷2けたの筆算のしかたを考えよう
↓			
$50 \div 10 = 5$ 5円	3分	調べる	8分
ネットコーナーやふりかエルコーナーを利用して考えをまとめる	同時直接		同時直接
を発表する。 自分の考えた方法を発表する。	11分		11分
<b>はかせタイム</b> 「は」やい、「か」んたん、「せ」いかくな解法について考える。	8分	深める	3分
自分の発表をする。 まとめた内容を教師に説明する。 問題に取り組む。 $250 \div 10$ のまとめをする。	直接 10分		間接 10分

学習過程を工夫し、両学年の学習状況を見取り、小わたりをしながら直接指導する時間を意図的に設定することで、個々の学習状況に応じて両学年ともタイミングよく個別指導を行う。

#### (2) ガイド学習の充実

**「ひめゆり」学習がんばりましょう!**

**算数ガイド学習表 (3・4年生)**

**復習問題をやる**

1 「これまでの復習問題をします。復習の内容は」  
①復習プリント ②計算ドリル ③教科書です。」  
「時間は( )分です。用意、始め」

**問題の丸付けをする**

2 「時間です。今から丸付けをします。赤ペンの準備はいいですか。」

**やり直しをする**

3 「間違えた所はやり直しをしましょう。全部できたらドリルを進めましょう。」

**ひらめきをたいせつに**

**学習問題を確認する**

1 「今日の学習問題を読みましょう。」  
※ 学習問題をノートに書く。コピーがある時はノートにはる。

2 「分かっていることに(直線)、  
たずねていることに(波線)を引きましょう。  
答えの単位は○(マル)で囲みましょう。」

3 「前の学習と似ている所、違う所を考えましょう。」  
※ 【ふりかエルコーナー】や前の時間までの教科書やノートを見て考える。  
※ 1人で分からない時は、友達と話し合ったり、先生に質問したりする。

**先生といっしょにめあてを決める**

4 「今日のめあてを決めます。先生よろしくお願ひします。」

5 「どんな方法で考えればいいか見通しをたてましょう。」  
※ 何を使って考えればいいか考える。(絵、図、表、グラフなど)  
※ どのように考えればいいか考える。(前の時間の考え、ふりかエルコーナー)  
※ 1人で分からない時は、友達と話し合ったり、先生に質問したりする。

**めあてに向かって調べよう**

問題を解く

1 「それではまず自分で考えましょう。時間は( )分です。」  
※ 考え(図、式、説明など)はホワイトボードに書く。  
※ 分からない時は【ヒントコーナー】や【ふりかエルコーナー】を利用したり、先生に質問をしたりする。  
※ 考え終わった人  
・ ヒントコーナーで自分の考え方の確認をしたり、他の方法を考えたりする。  
・ 考えの発表に向けて説明の練習をする。

**ゆうきをもって発表しよう**

**自分の考えを発表する**

1 「それでは考えを発表しましょう。」  
※ 黒板にホワイトボードをはって説明する。  
※ 途中で人も「ここまで考えることができました」と説明する。  
【発表の仕方】  
① 「これから私の考えを発表します。」  
② 「私は、○○の方法を使って考えました。」  
③ 「まず、○○をします。」「すると、○○になりました。」  
④ 「だから答えは○○になります。みなさんどうですか。」  
※ 図や式を指し示しながら分かりやすく説明しましょう。

**はかせタイム**

2 「それでは今日の『はかせ』を考えましょう。」  
※ 自分や友達の見学内容を比べながら考える。  
※ 考えが1つの時にはヒントコーナーの考えや、先生からのヒントも参考にする。

**はかせをまとめる**

3 「今日の『はかせ』を説明する練習をしましょう。」  
※ だれが説明するのか決める。  
※ 説明に必要な時には、ホワイトボードに新しい図や式をまとめたり、【ヒントコーナー】や【ふりかエルコーナー】の図などを利用したりする。

**いっばにできたかふりかえろう**

**はかせの発表**

1 「それでは今日の『はかせ』を発表しましょう。先生よろしくお願ひします。」  
※ 代表の人が発表する。

**先生といっしょにまとめをする**

2 「先生といっしょに今日の学習のまとめをします。」

**学習のまとめが終わる**

3 「学習のふりかえりをしましょう。」

ガイド学習表を用い、ガイド学習を定着させながら学習の効果を高め、主体的な学習態度を育成していく。

## 2 問題解決的な学習について

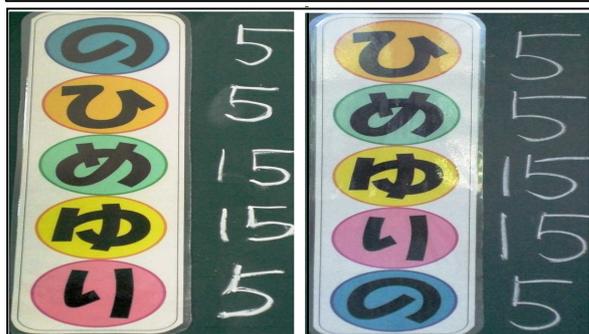
### (1) 「ひめゆり」の学習指導過程

段階	教師の意図	児童への提示内容と学習活動
つかむ ・ 見通す	児童自ら課題を見つけて意欲的に解決に導くような課題の提示や問題の提示を行う。	ひらめきを、だいじにしよう。 学習のめあて、課題をつかむ。 問題解決の予想を立てる。 解法への見通しを立てる。
調べる	自力解決の時間を十分に確保し、既習学習を生かして自力解決をさせる。 また、ヒントコーナーの活用を促したり、前時の学習を振り返らせたりしながら自力解決の手がかりとさせる。	めあてにむかって、しらべよう。 自力解決をする。 既習事項を生かして、問題解決をする。 発表の準備をする。
深める	自ら解決したことをもとに、話し合いを通して練り上げさせる。	ゆうきをもって、はっぴょうしよう。 考えを発表する。 友達の考えを知る。 はかせタイム 分かったことをもとに「はかせ」をまとめる。
まとめる	学習を客観的に振り返ることで自己評価をさせ、次時への意識付けを図る。	りっぱにできたか、ふりかえろう。 自己評価を行う。 次時の学習を知る。
	個人差に応じて理解の習熟、発展、応用を図りながら、基礎・基本の定着を図る。	のびのびタイム 練習問題をする。

複式指導の特性により、学年によってはのびのびタイムから行う。



教室前面に掲示し、毎時間の児童の学習活動において分かり易い言葉で意識付けを図る。



各学年で使用する黒板に掲示する。各学習活動における時間配分を記入し、児童が学習の進め方（時間）の目安にできるようにする。

① は「のびのびタイム」

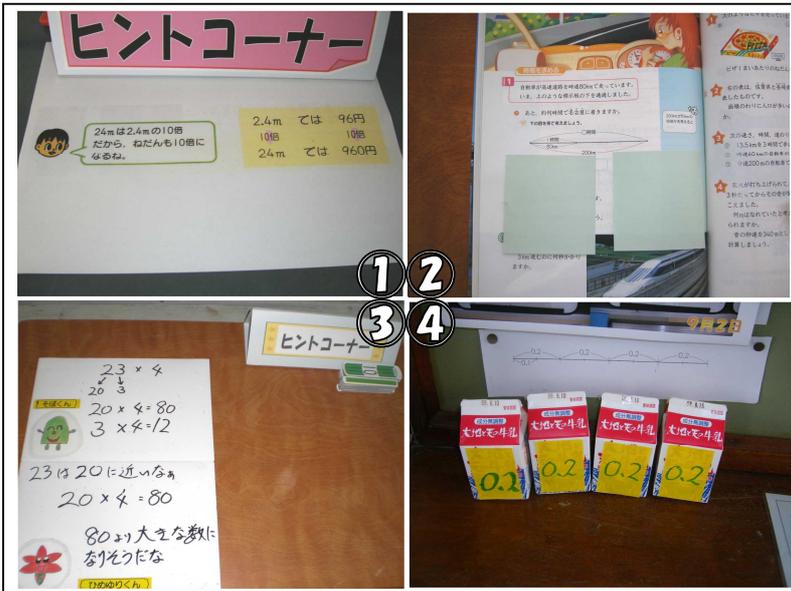
聞き方「あいうえお」		「はなしかた」合言葉	
あ	あいての目を見て	は	はっきりと
い	いいしせいで	な	なかみをまとめて
う	うなずきながら	し	じゅんじょよく
え	えがおで	か	かんたんなことばで
お	おわりまで	た	たしかめながら

ガイド学習を効果的に進めるための学習環境整備として聞き方・話し方の表を掲示し、指導を行う。

(2) ヒントコーナーの工夫

各コーナーの内容は以下の通りとする。

ヒントコーナー	ふりカエルコーナー
本時の学習問題に対して、直接的に解法の手助けとなる内容のもの。	本時以前の1単位時間毎の学習のポイントや学習のまとめ、ヒントコーナーで活用したもの。本時の問題解決に生かせる既習事項など、間接的に解法の手助けとなる内容のもの。



**ヒントの提示方法例**

- 教科書のプリントアウト
- 教科書の部分提示
- 具体物の提示
- ワンポイントアドバイス

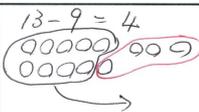
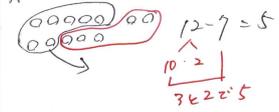


**ふりカエルコーナーの内容例**

- 前時のヒントコーナーで使ったもの
- 板書をデジカメで記録したもの

### 3 個に応じた指導方法について

#### (1) 個人カルテの作成・活用

【個人カルテ】 ( ) 年 氏名 ( )			
単元名 ( 11. ひきざん )			
	児童の考え	思考の様子	評価問題
① 11月13日	$13-9=4$ 4に  ・10からとる方法のみ。	・10からとって、残りはいかに考えていた。 ・1と4を合わせて考える考え方には、とまどいやあつて。	・絵図で、正確に解答できた。 (自) all 4
② 11月14日	$12-7$ 減加法により、計算する時に気がつく。  $12-7=5$	「10」「9」「8」の考えで、よく理解できていた。 8時の残った数を、10時とは、推定できていた。	・算法を暗記するのではなく、正確にできる。 (自) all 4
③			

**個人カルテ例**  
 児童の考えの記録  
 思考傾向の記録  
 到達度  
 特記事項等  
 次時の学習指導に生かす。

#### (2) 指導に生かす自己評価の在り方

評価項目		評価
ひ	〇何をつかって考えればよいかわかりましたか。	4-3-2-1
め	〇めあてにむかって、しらべられましたか。	4-3-2-1
ゆ	〇自分の考えが、発表できましたか。	4-3-2-1
り	〇今日の勉強は、よくわかりましたか。	4-3-2-1
【かんそう】よくわかって楽しかったです (おひょうが、とまどいずうでしては!? よくがんばりました。		

児童の自己評価を取り入れ、児童に自らの学習を振り返らせ、次時への意欲付けを行う。

### 主体的な学びを支える基礎的・基本的内容を身に付ける教科外活動

#### 1 朝の読書活動(10分間読書): 豊かな感受性、幅広い知見の育成



月曜日から金曜日の朝の時間に10分間の読書活動に取り組んでいる。落ち着いた気持ちや態度で一日のスタートを切る。それが学習へのスムーズな取りかかりにつながる。

## 2 業間活動（スピーチ活動・ぴよんぴよんタイム）



### 【スピーチ活動】

表現力、発表力の向上・豊かな感性の育成

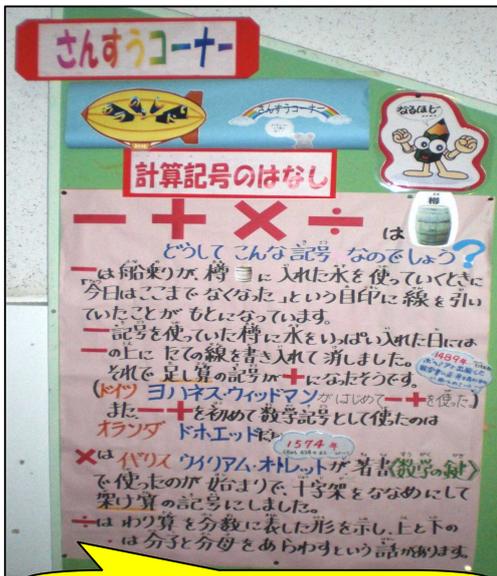


### 【ぴよんぴよんタイム（個に応じた基礎学力向上の時間）】

NRT等の結果を踏まえた問題の準備・五ヶ所漢字計算検定の実施



## 3 学習環境整備（算数コーナー）



学びが広がりつながる学習環境づくり

## 4 家庭との連携（家庭学習の手引き活用）



家庭との連携による学力向上への取り組みの一環

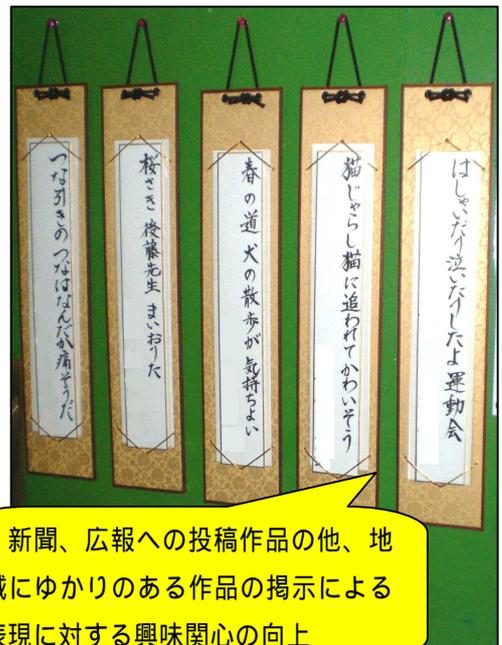
## 5 プレゼント学習問題（校長作成による習熟問題）

だい2学年 校長プレゼント NO.1

ばん	名前
1	つぎの計算をしましょう。
①	$14 + 6 = \square$
②	$72 + 9 = \square$
③	$50 - 5 = \square$
④	$23 - 8 = \square$
⑤	$600 + 200 = \square$
⑥	$110 - 40 = \square$
2	つぎの計算をひっ算でしてみましょう。
①	$36 + 42 = \square$
②	$66 + 17 = \square$
③	$69 + 74 = \square$
④	$73 + 29 = \square$
⑤	$80 - 28 = \square$
⑥	$56 - 49 = \square$
3	504の百のくらい、十のくらいの数字をかきましょう。
	百のくらい $\square$ 十のくらい $\square$
4	つぎの数を数字でかきましょう。
①	七百九十四 $\square$
②	100を7つ、1を3つあわせた数 $\square$
③	900より1小さい数 $\square$
④	10を56こあつめた数 $\square$
5	$\square$ にあう数をかきましょう。
①	6cmは $\square$ mm
②	47mmは $\square$ cm $\square$ mm
③	996 - $\square$ = 999 - $\square$
④	$\square$

学習に対する興味関心の向上

## 6 俳句・短歌・作文コーナー



新聞、広報への投稿作品の他、地域にゆかりのある作品の掲示による表現に対する興味関心の向上